| 授業科目名 | 開講年次 | 開講時期 | 単位数 | 時間数 | 実務経験 |
|---|---|---|---|---|---|
| 共通基本技術 | 1年次 | 通年 | 1 | 30 | 有 |

| | |
|---|---|
| 科目責任者 | 四ノ宮真寿美・福原洋子・小形紀子 |
| 授業概要 | 対象者の健康状態を把握するために必要な看護技術であるコミュニケーション、バイタルサイン測定について学ぶ。医療施設における感染予防の基礎知識と実践方法を学ぶ。 |
| 目標 | 1. 信頼関係を築くコミュニケーション技法の基礎を実践できる。<br>2. 自己理解・他者理解を深め、課題を述べることができる。<br>3. バイタルサインの構成要素を述べることができる。<br>4. 基本的なバイタルサイン測定が正確で安全に実施できる。<br>5. 感染予防の基礎的な知識を理解し、感染への対策を述べることができる。<br>6. 感染経路別予防策、洗浄・消毒・滅菌、感染性廃棄物の取り扱いについて述べることができる。<br>7. 標準予防策と無菌操作について学び、正しく実践できる。 |

授業内容

| 回 | 内容 | 担当 | 授業方法 |
|---|---|---|---|
| 1 | 感染防止の基礎知識、医療施設における感染管理 | 四ノ宮 | 講義 |
| 2 | 標準予防策、感染経路別予防策 | 四ノ宮 | 講義 |
| 3 | 看護・医療におけるコミュニケーション<br>コミュニケーションの構成要素と成立過程 | 福原 | 講義 |
| 4 | ミスコミュニケーション・コミュニケーションの実際<br>言語的・非言語的コミュニケーション・ | 福原 | 講義・演習 |
| 5 | 対人関係の振り返りの方法<br>（リフレクション・プロセスレコード） | 福原 | 講義 |
| 6 | 記録と倫理性・個人情報の取り扱い<br>情報はだれのものか | 福原 | 演習 |
| 7 | 情報共有の方法：記録・報告 | 福原 | 演習 |
| 8 | 情報共有の方法：記録・報告 | 福原 | 演習 |
| 9 | フィジカルイグザミネーションの基本技術の理解<br>バイタルサインとは | 小形 | 講義 |
| 10 | バイタルサインの測定方法 | 小形 | 演習 |
| 11 | バイタルサイン測定 | 小形他 | 演習 |
| 12 | 洗浄・消毒・滅菌 | 四ノ宮 | 講義 |
| 13 | 無菌操作の基礎、感染性廃棄物の取り扱い | 四ノ宮 | 講義 |
| 14 | 無菌操作の実際 | 四ノ宮 | 演習 |
| 15 | 終講試験 | | — |

| | |
|---|---|
| 履修条件 | なし |
| テキスト | 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ　医学書院<br>看護がみえる　vol.3　フィジカルアセスメント　MEDIC MEDIA |
| 参考書 | 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第2版　医学書院 |
| 評価方法 | 試験（50%）・提出物（10%）・技術試験（40%）<br>この科目は、基礎看護学実習Ⅰ―2の履修条件である。 |